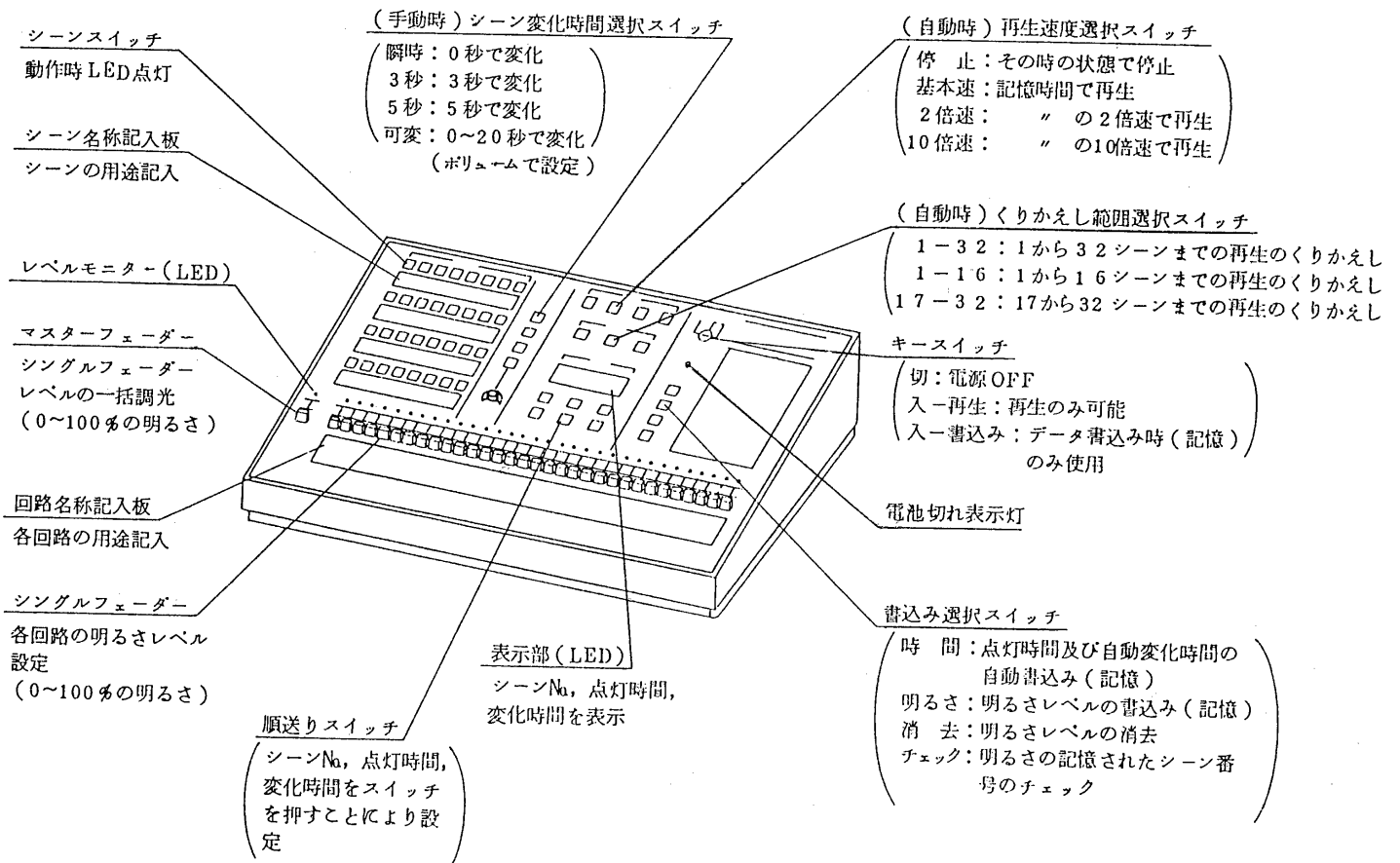


このたびは東芝メモリー操作卓 (△-ディラムメモリ) をお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。お求めの製品を正しく使っていただくために、この取扱説明書をよくお読みください。

各部のなまえ



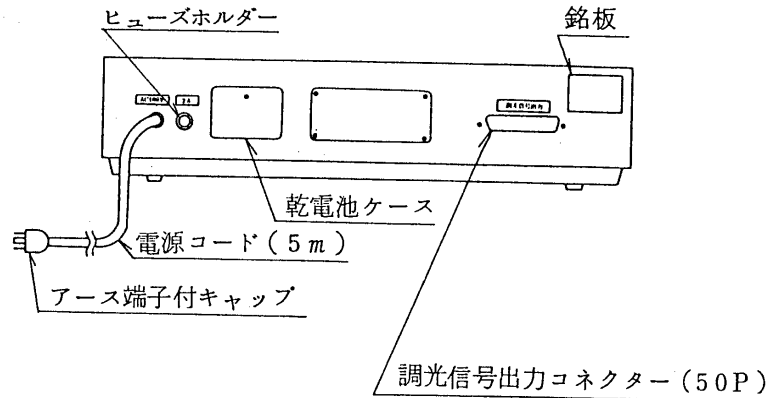
工事店様へ

工事が終了しましたら、この説明書は必ずお客様にお渡しください。

ご使用のまえに

- 付属の乾電池（単三形×2本）を本体背面の乾電池ケースへ入れてください。
⊕⊖をまちがえないよう御注意ください。
（ケース上部のねじを手でゆるめるとフタがはずれます。）
- 付属の接続ケーブルを調光信号出力コネクタへ差し込み、留め金でしっかり固定してください。
- 電源コード、接続ケーブルをコネクタボックス（別売）のそれぞれの端子へしっかり取り付けてください。
- この装置はAC100V用です。電源を入れる前に必ず電圧の確認をしてください。

本体背面



特にご注意を

- 電源プラグはアース端子付の3Pプラグとなっています。アース端子は必ずアース（第3種接地工事）をとってください。アースされていない場合は外来ノイズ等で誤動作する場合があります。
- 乾電池を交換する場合は必ず電源を入れ、キースイッチを「入」にして行ってください。「切」の状態では記憶された内容が消去してしまいます。
- 乾電池の寿命が近づいていたり、乾電池が入っていないときは「電池切れ」表示灯が点灯しますので、新しい乾電池と交換してください。放置しておきますと記憶が消去したり、漏液で機器をいためるおそれがありますので早めに交換してください。
- この装置は雑音防止設計になっていますが、ラジオやマイクロホンなどの音響機器に雑音障害をおよぼす場合があります。その場合はつぎのような対策をしてください。
 - この装置と音響機器およびアンテナ、アース線はできるだけ（1m以上）はなしてください。
 - 不平衡形マイクロホンの場合、ノイズの影響を受けやすいので平衡形マイクロホンをご使用ください。
 - 音響装置のアースは必ず取り付けてください。
- この装置は屋内専用で0℃～40℃の温度範囲で使用するように設計されています。つぎの場所には取り付けないでください。性能が低下するばかりか故障のもとになります。
 - 暖房機器の真上やその付近
 - 湿度の高いところ
 - 有毒ガスやほこりが特に多いところ
 - 水や薬品がかかる恐れのあるところ
- 電源の「入」・「切」は必ずキースイッチで行ってください。

装置の使いかた

- この装置は照明演出設備の頭脳として、明かりの設定状態（調光レベル）を正確に記憶し、同じ明かりを再現することができ、簡単な操作で効果的な演出ができます。

この装置を使って明かりを調光する方法は、①フェーダーによる直接調光、②シーン（場面）記憶とその手動再生、③タイマーによる照明演出の自動進行再生 の3方式があり、場合に応じて使い分けができます。

① フェーダーによる直接調光

各回路の明るさをシングルフェーダーで調整し、全体の明るさをマスターフェーダーで一括調光します。フェーダーのつまみの位置が実際の明るさと直結しており、そのまま場面に応じて調光できます。

② シーン記憶と手動再生

①の直接調光で設定された明るさを、本装置へ電氣的に記憶させ、必要に応じて再現できます。

各回路毎別々に設定された明るさが組合わされて1つの演出状態となりますが、これを「シーン」（場面）と呼びます。

この装置は、32のシーンを記憶し、任意を選んで再現することができます。

このシーン記憶により微妙な明るさ調整は一度行なっておけば、その後は簡単な再生操作で再現することができます。

再現するには、シーン番号の選択スイッチを押すだけで可能ですが、これを「手動再生」と呼びます。

また再生時、今まで点灯していた明かりから、新たに選ばれたシーンの明かりへと自然な変化を行なうために、点灯中の明かりを徐々に消していき、新しい明かりを徐々につけていくように動作します。



③ 自動進行

一連の照明演出をタイマーにより自動的に行なりものです。

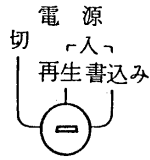
各シーンに対して、明るさの他、時間データ、すなわち、そのシーンの明かりが点灯する（徐々に明るくもしくは暗くなる）時の時間「シーン変化時間」と、そのシーンが点灯しつづける時間「点灯時間」を記憶させることにより、再生時は簡単なスイッチ操作によりシーン番号順に次々と再生されます。

記憶させた時間の2倍速、10倍速の高速再生も可能です。

また、シーンのくり返し範囲は、1～32、1～16、17～32の中から選択することができます。1～32を選択しますと、自動的にシーン1～32までを再生し、またシーン1に戻って連続してシーンをくり返し再生しつづけます。止めるときは停止スイッチを押します。自動進行の動作中にシーンスイッチを押すと、手動再生状態になります。

各スイッチとフェーダーの使いかた

① キースイッチ



「切」：電源OFF

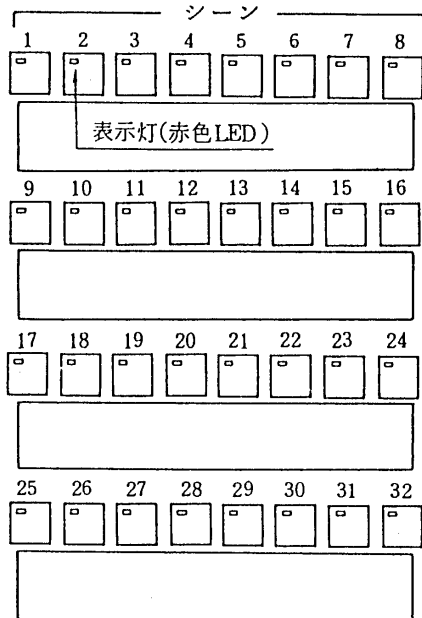
「入-再生」：手動操作および自動操作で再生（調光）を行う場合。
プログラムの消去・書込みはできません。（記憶ロック）

「入-書込み」：プログラムデータ（明るさ・時間）の書込み（記憶）を行う場合とプログラムデータの消去・書き替えを行う場合。

※ 各位置でキーの抜き取りができます。

※ 電源を「入」にしても、フェーダーが上がっていないか、記憶済のシーンスイッチを押さない限り明かりは出力されません。

② シーンスイッチ

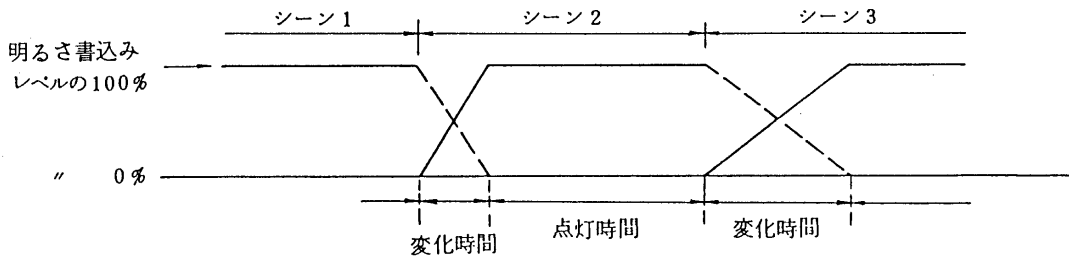
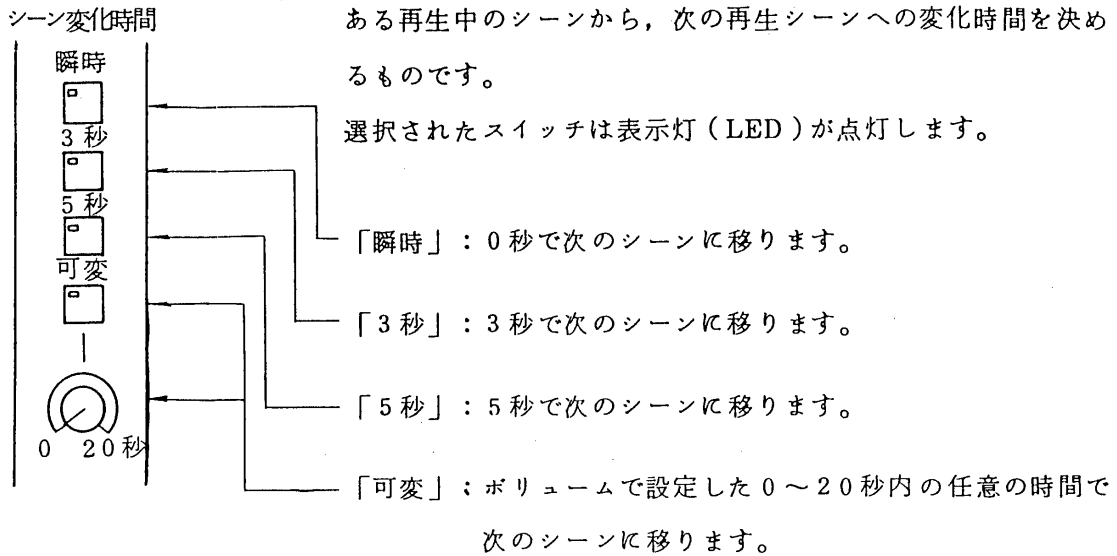


手動再生時および明るさ・時間の書込み時に対象とするシーン番号の選択を行なうための押釦スイッチです。

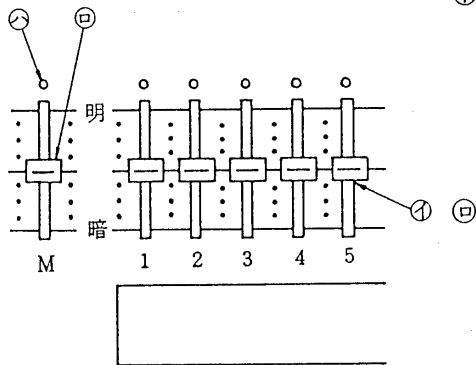
各スイッチは、選択時に点灯する表示灯（LED）を内蔵しています。

- キースイッチ「再生」時……シーンスイッチを押すと、そのスイッチの表示灯が点灯すると共に負荷が選択されたシーン番号の記憶状態で調光されます。（ただし、明るさ書込みしていないシーンは、スイッチを押しても動作せず、負荷もそのまま変化しません。）負荷の明かりが今までのシーンの調光状態から新たに選択されたシーンの調光状態へと変化する時間は、シーン変化時間選択スイッチ（③項参照）にて設定できます。
- キースイッチ「書込み」時……必要なシーン番号を選択して押すことにより、そのシーン番号へ明るさ、時間の書込み及び消去ができます。

③ シーン変化時間選択スイッチ（手動再生時）



④ 明るさ設定ボリューム（フェーダー）



① 「シングルフェーダー」

各調光回路（CH）ごとに1本あり、各回路の調光レベルを設定します。

本装置では32回路分装備しています。

② 「マスターフェーダー」

シングルフェーダーによって設定されている負荷の明るさを全回路一括操作するものです。

^{注)} 明るさ書込み時には一番上の位置にし、再生するときは必ず一番下の位置にしておいてください。

③ 「レベルモニター」（赤色LED）

各回路の調光状態に応じ明るさが変化します。

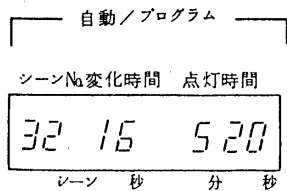
シーンの再生・書込み時に負荷の調光状態が確認できます。

注) シーン再生時に明るさの修正をする場合は、マスターフェーダーを一番上に上げ、修正したい調光回路（CH）のシングルフェーダーを記憶されているレベルまで上げて、その後必要なレベルに調整してください。（記憶レベルは変わりません。）

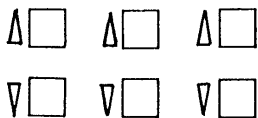
⑤ 明るさ書込みスイッチ（キースイッチが「書込み」で動作）

- 書込み 各フェーダーで設定した調光レベルをシーンスイッチで選んだ番号のシーンに記憶させるためのスイッチです。
- 時間
- 明るさ ← 明るさの設定方法は（④項）を参照してください。
- 消去
- チェック

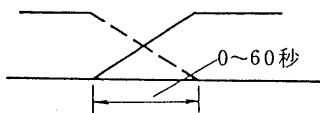
⑥ 自動進行状態表示部



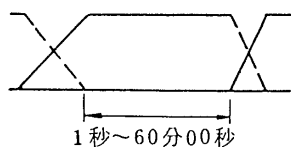
自動進行のシーン番号、自動変化時間、点灯時間の表示を行ない、また、手動再生時にはシーン番号のみ表示を行ないます。



- シーン No : シーン番号（1～32）を表示します。
- 変化時間 : 番号表示されたシーンが、自動進行時に点灯していく時の変化時間を表示します。（0～60秒）



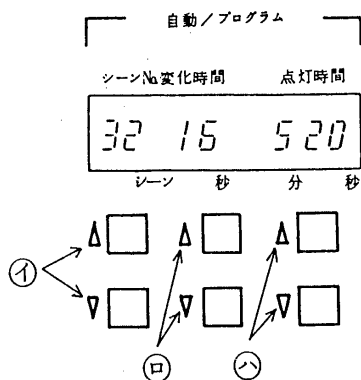
- 点灯時間 : 表示されているシーンが点灯しつづける時間を表示します。（1秒～60分00秒）
- 0秒設定もできますが、自動進行再生時、そのシーンは点灯しません。



表示部は操作状態に応じ、次の表示をします。

- 「手動再生」時……シーン番号のみ表示。
- 「自動再生」時……点灯中のシーン番号と時間（自動変化時間、点灯時間）の表示。（時間は進行に応じ減算表示します。）
- 「プログラム」時……⑦項に説明の設定スイッチで設定した値の表示。

⑦ 自動進行状態設定スイッチ



●自動進行状態表示部(⑥項にて説明)の3つの表示に対応して、それぞれ増(Δ), 減(▽)スイッチがあります。このスイッチはプログラム時及び自動進行再生中(この時はシーン番号用スイッチのみ)のみ動作します。

各スイッチは次のように使用します。

① シーン番号用スイッチ

増(Δ)または減(▽)を1回押すごとに、表示部のシーン番号は(+1)または(-1)し、その番号に対応し自動変化時間及び点灯時間の設定内容を表示します。

☆シーン変化範囲 1～32

② 自動変化時間用スイッチ(キースイッチが「プログラム」で動作)

①と同様のスイッチ操作をすることにより、時間値が(+1)秒または(-1)秒変化します。スイッチを押し続けると時間は連続的に変化します。

☆自動変化時間範囲 0秒～60秒(1秒単位)

③ 点灯時間用スイッチ(キースイッチが「書込み」で動作)

①と同様のスイッチ操作をすることにより、時間値が(+1)秒または(-1)秒変化します。スイッチを押し続けると時間は連続的に変化し、さらに長く押し続けると高速で変化します。

☆点灯時間範囲 1秒～60分00秒(1秒単位)

時間の記憶 (プログラム時は上記のようにシーン番号と自動変化時間と点灯時間の組み合わせを表示パネルで確認し、⑧項で説明する時間書込みスイッチで記憶させます。)

●自動進行中の動作 …… 基本速▶, 2倍速▶▶, 10倍速▶▶▶を押して自動再生中における各スイッチの働きは次のようになります。

◎ シーン番号用スイッチ

増(Δ)または減(▽)を1回押すごとに、現在のシーンの点灯状態を打ち切り、次のシーンへ進行します。

◎ 変化時間・点灯時間用スイッチ

押しても動作しません。

⑧ 時間書き込みスイッチ（キースイッチが「書き込み」で動作）

書込み



⑦項の手順で設定したシーン番号に対する自動変化時間および点灯時間を記憶させるためのスイッチです。

スイッチを押し、「ピッ」という音が出て書き込み完了です。

⑨ 記憶済チェックスイッチ

書込み



明るさ書き込みを行なっているシーンを確認するためのスイッチです。

このスイッチを押し続ける間は、明るさ書き込みを行なったすべてのシーンスイッチの表示灯（LED）が点灯します。

⑩ 書き込み内容消去スイッチ（キースイッチが「書き込み」で動作）

書込み



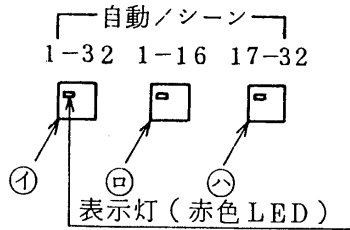
シーンスイッチで消去シーンを選択し、このスイッチを押すと、明るさ記憶、

時間記憶の各データを消去します。

1回押すごとに1シーンずつ消去できます。

スイッチを押し、「ピッ」という音が出て消去完了です。

⑪ (自動時)くりかえし範囲選択スイッチ

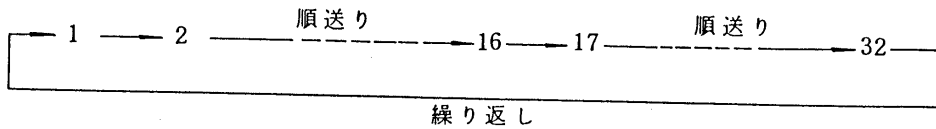


自動再生を行なう際に最初に選択するスイッチです。

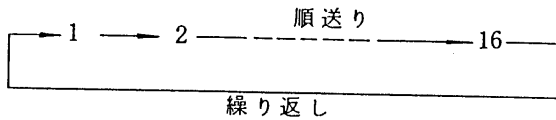
3つのスイッチはそれぞれ表示灯(LED)を持っており、選択したスイッチが点灯します。

各々の選択により再生はつぎのように動作します。

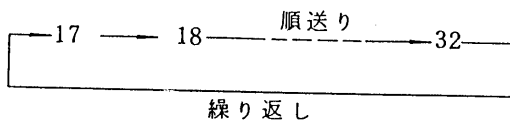
① 1-32 を選択



② 1-16 を選択



③ 17-32 を選択

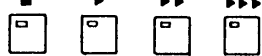


このとき明るさ及び点灯時間が書き込まれていないシーンとはばします。

⑫ (自動時)再生速度選択スイッチ

自動/速さ

停止 基本速 2倍速 10倍速



⑪項の選択と同時に(停止■)スイッチの表示灯が点灯します。

(自動再生スタンバイ状態)

通常は基本速▶(書込み時間の早さ)での再生を選択しますが、書込み内容の確認やディスプレイ照明の効果演出等で、2倍速▶▶ 10倍速▶▶▶による再生もできます。

お手入れのしかた

- 表面が汚れたときはやわらかい布か、ぬるま湯を浸した布をよくしぼってからふいてください。ガソリン・ベンジン・シンナー・アルコール等の薬品でふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変質や変色のものになります。
- 乾電池は定期的（約1年毎）に新しい乾電池に交換してください。（単三形乾電池×2本）

修理サービス

- ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、電源を切って、お買いあげの販売店（工事店）またはお近くの東芝ライテック株式会社にご相談ください。
- なお、ご相談されるときは装置の形名およびお買いあげ時期をお忘れなくお知らせください。

仕 様

• 入力電源	AC100V±10% (50/60Hz)	• 付属品	キースイッチ (No.300)×2個 調光信号用接続ケーブル (50芯×5m)×1本 乾電池 (単三形)×2個 カバー×1枚 取扱説明書×1冊
• 負荷制御回路数	32回路		
• シーン数	32シーン	• 予備品	ヒューズ (2A)×1本
• シーン変化時間	手動時：瞬時，3秒，5秒，可変 (0~20秒) 切替方式 自動時：0~60秒 (1秒単位)		
• シーン点灯時間	1秒~60分00秒 (1秒単位)		
• 制御対象負荷	ムーディム他当社調光盤に限定します。		
• 停電補償	約1年間 (内蔵乾電池)，電池切れ表示灯付		
• 消費電力	最大20W		
• 重量	12kg		

△-ディ△メモリ- 操作のしかた

(形名: TRDM-32AN)

1 明るさレベルの書込み

- 1) ①キースイッチを“書込み”にします。
- 2) 書込みシーン番号を選択します。
(②シーンスイッチを押す。)
- 3) すでにシーンが書込まれている場合は③消去スイッチを押します。
- 4) ④マスターフェーダー、⑤シングルフェーダーで必要な明るさにセットします。
- 5) ⑥明るさ書込みスイッチを押します。→ ビッと音がして書込みが完了します。

以上の手順で各シーンごとに書込みを行ってください。

2 自動再生時間の書込み

- 1) ①キースイッチを“書込み”にします。
- 2) 時間書込みしたいシーンの番号を②シーンスイッチまたはスイッチ△□、▽□⑦を押して⑧シーン番号表示部へ出します。
- 3) 自動変化時間を△□、▽□のスイッチ⑨を押して設定します。(0秒~60秒)
- 4) 点灯時間を△□、▽□のスイッチ⑩を押して設定します。(0秒~60分00秒)
- 5) ⑪時間書込みスイッチを押します。→ ビッと音がして書込みが完了します。

以上の手順で各シーンごとの時間書込みを行ってください。

3 自動再生進行

- 1) ①キースイッチを“再生”にします。
- 2) 自動のくりかえし範囲を決めて⑫くりかえし範囲選択スイッチの中から選択してください。
- 3) 自動再生の速さを⑬再生速度選択スイッチの中から選択して押してください。
- 4) 停止する場合は停止スイッチを押します。

4 手動再生

- 1) ①キースイッチを“再生”にします。
- 2) シーンの変化時間を⑭シーン変化時間選択スイッチの中より選択します。(可変の場合⑮可変時間ボリュームにより0~20秒の設定をしてください。)
- 3) 点灯させたいシーンの番号を選んで②シーンスイッチを押します。

5 書込みシーンのチェックをしたい場合

- 1) ①キースイッチは“再生”又は“書込み”にします。
- 2) ⑯“チェック”を押します。
- 3) 書込み済の②シーンスイッチが点灯します。

6 記憶の消去

- 1) ①キースイッチを“書込み”にします。
- 2) 消去するシーンのシーン番号を選んで②シーンスイッチを押します。(△□、▽□でもシーンの選択は可能)
- 3) ③消去スイッチを押します。
- 4) 書込みされた明るさレベル、自動変化時間は消去されます。

7 明るさレベルの修正

- 1) ①キースイッチを“書込み”にします。
- 2) 修正したいシーンのシーン番号を選んで②シーンスイッチを押します。(△□、▽□でもシーンの選択は可能)
- 3) マスターフェーダーを一番上まで上げます。
- 4) 修正したい回路のシングルフェーダー⑤をいったん記憶されているレベル以上に上げて、その後必要なレベルに調整してください。
- 5) ⑥明るさ書込みスイッチを押します。→ ビッと音がして書込みが完了します。
- 6) ①キースイッチを“再生”にした時にも3)の操作を行なうことにより明るさの修正が行なえます。(ただし、記憶は変わりません。)

本番再生中の突然の場面の修正などに便利です。

⑭シーン変化時間
選択スイッチ

⑬再生速度選択スイッチ

②シーンスイッチ

①キースイッチ

⑧シーン番号表示部

⑫くりかえし範囲
選択スイッチ

⑮可変時間ボリューム

⑪“時間”書込みスイッチ

⑦シーン番号順送りスイッチ

⑥“明るさ”書込みスイッチ

⑨自動変化時間順送りスイッチ

③“消去”スイッチ

⑩点灯時間順送りスイッチ

⑯“チェック”スイッチ

④マスターフェーダー

⑤シングルフェーダー

